

【各国比較】国立大学法人等の教育支出に占める施設整備等の割合はOECD加盟国と比較して低い

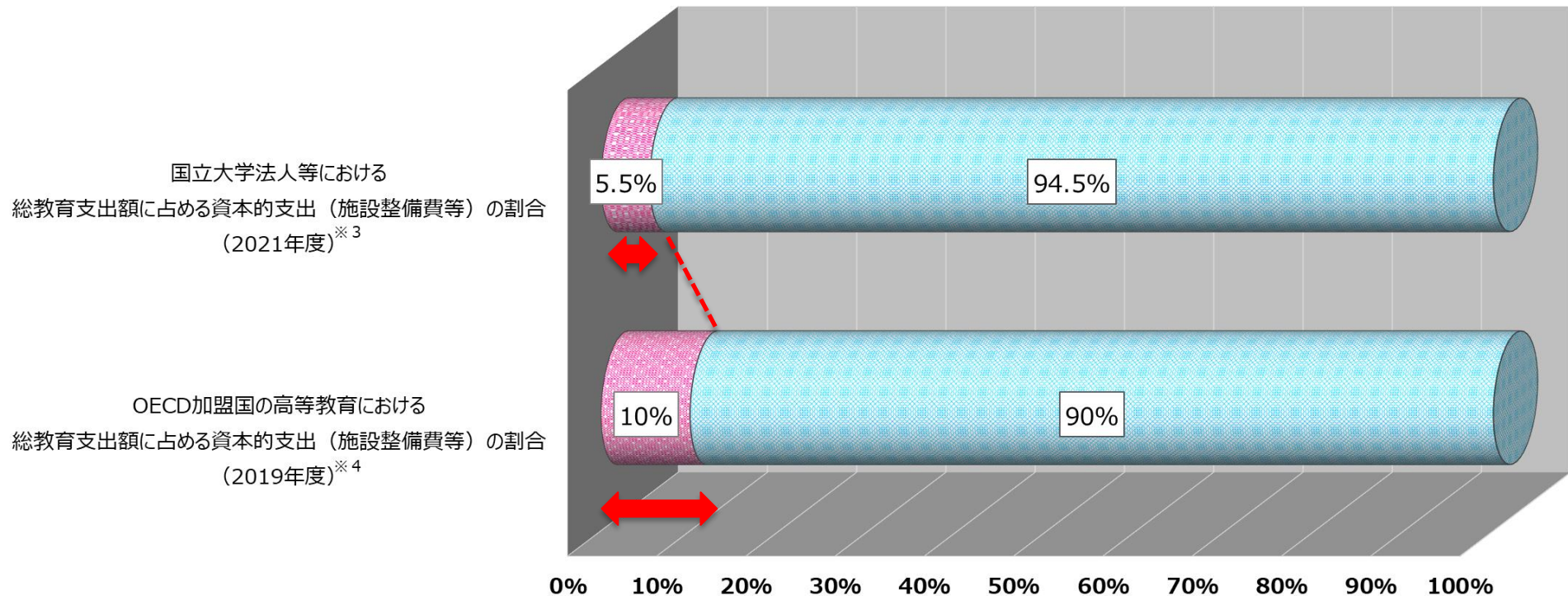
国立大学法人等における総教育支出額に占める施設整備費等の割合（OECD加盟国平均との比較）

■ 資本的支出（施設整備費等）※¹ ■ 経常的支出※²

※¹ 建物（新增改築、改修）等の固定資産に対する支出が相当する。

※² 人件費等の毎年度経常的に支出される経費であり、ここでは総教育支出額から資本的支出（施設整備費等）を除いた支出が相当する。

総教育支出額 = 資本的支出（施設整備費等） + 経常的支出

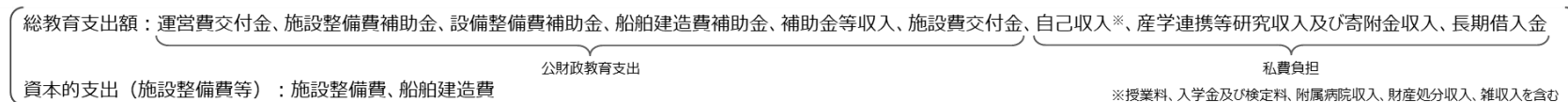


※³ 各国立大学法人等における令和3年度決算報告書より算出した。

総教育支出額：国等から国立大学法人等に措置される補助金等の公財政教育支出及び授業料等の私費負担により構成され、決算報告書においては「収入」の区分に相当する。

資本的支出（施設整備費等）：国立大学法人等における建物（新增改築、改修）等の固定資産に対する支出が相当し、決算報告書においては「支出」の区分に相当する。

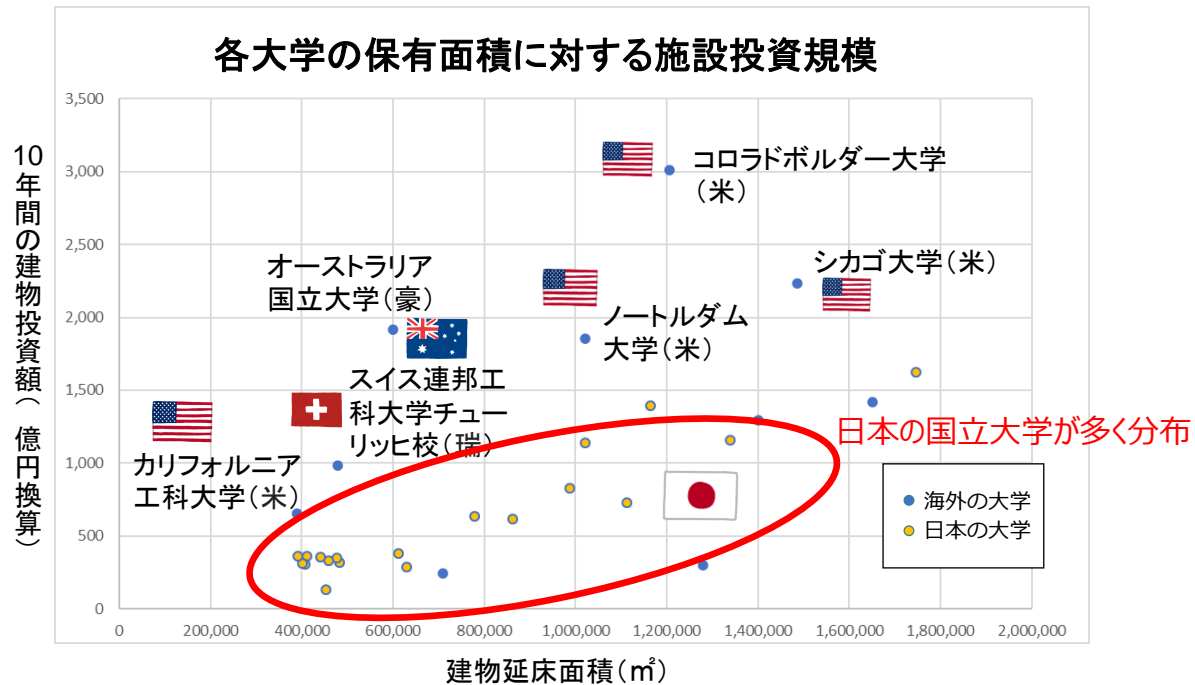
総教育支出額及び資本的支出（施設整備費等）はそれぞれ下記の項目により構成される。



※⁴ 出典：「Education at a Glance 2022」（OECD）（Education at a Glance 2022：OECD Indicators | Education at a Glance | OECD iLibrary (oecd-ilibrary.org)）

諸外国と比較した我が国の大学等キャンパス・施設整備の状況

【海外大学との比較】同規模の海外上位大学と比較して国立大学の施設投資額は全体的に低調



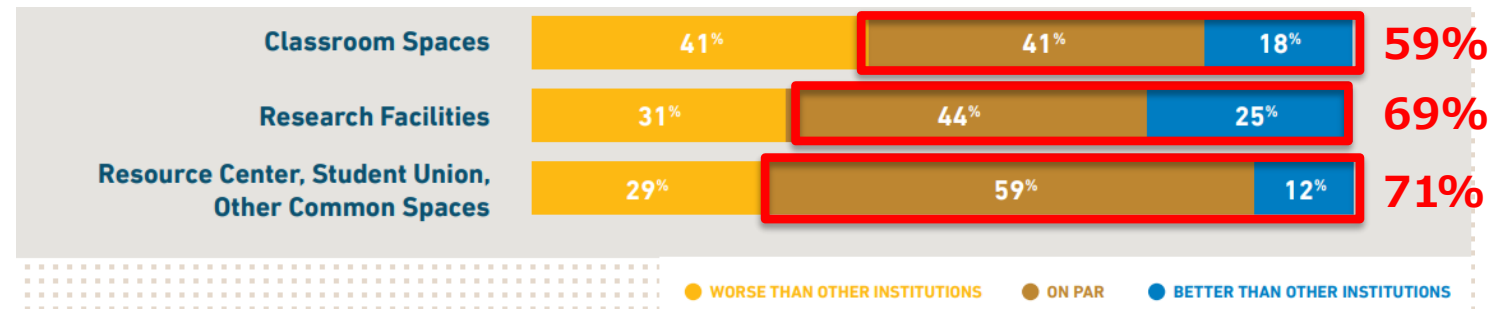
（出典：国内外の大学施設の実態把握及び今後の国立大学法人等の施設整備所要額の試算に関する調査研究報告書（令和2年3月WIPジャパン株式会社）＜文部科学省委託事業＞）

（補足）施設投資額は10年間の投資額の計の比較。外貨の円換算額は、投資額の合計期間の最終年度における当年の対円年平均対円為替レートを乗算して求めたもの。

諸外国と比較した我が国の大学等キャンパス・施設整備の状況

【日米比較】大学等キャンパスの競争力に対する自己評価の相対的低さ

●アメリカの高等教育専門家への調査結果（各施設の他大学に対する競争力の有無）



アメリカの大学キャンパスは他大学と同等以上の競争力を有するとの回答が主

(出典：mortenson_higher_education_study_2019.pdf)

●日本の大学への調査結果（国内又は世界的な競争力の有無）

①貴校のキャンパスデザインは世界的に競争力があると思いますか。

(該当する位置の番号に○印をつけてください)

競争力がある 1 2 3 4 5 競争力がない

②貴校のキャンパスデザインは国内では競争力があると思いますか。

(該当する位置の番号に○印をつけてください)

競争力がある 1 2 3 4 5 競争力がない

○:国公立 ●:私立	1 世界的に競争力がある	2	3	4	5 世界的に競争力がない	国内 集計数
1 国内で競争力がある	○ ●	○ ○ ○ ○	○ ● ● ● ● ● ● ●	●		4, 1
2		○ ○ ○ ●	○ ● ● ● ● ● ● ●	●		4, 7
3			○ ● ● ● ● ● ● ●	○ ○ ● ● ● ● ● ●	● ●	3, 7
4			○	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ● ● ● ●	○ ○ ● ● ● ● ● ●	8, 10
5 国内で競争力がない				●	○ ●	1, 2
世界的集計数	1, 1	6, 1	3, 8	7, 10	3, 7	19, 27

日本の大学キャンパスは競争力がないとの回答が主

未回答 私立大学 2校

●キャンパスデザインについて国際的あるいは国内的な競争力があるかとの質問に対して、一部の国立大学を除き、多くの大学が国際的、国内的に競争力がないと回答。

●競争力がないと回答した大学は、その原因として、①耐震性など性能が劣る老朽・狭隘化した施設、②学生の多様な活動のための空間不足、③緑地などの外部空間の量的不足、魅力のなさ、④キャンパス全体としての計画の欠如や、一貫性ある長期的な取組みの欠如などを指摘していた。

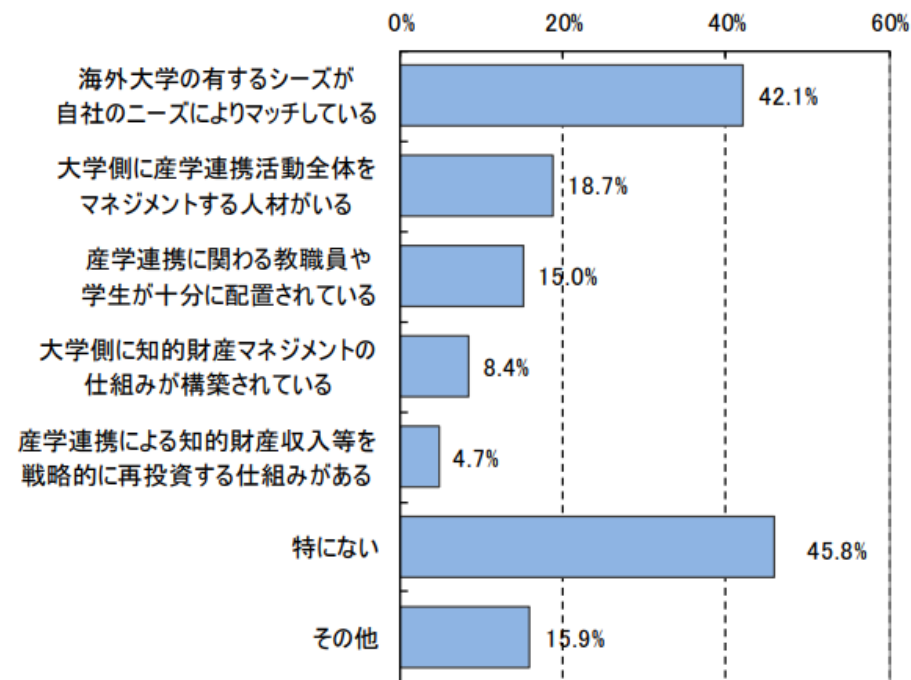
(出典：平成29年9月、日本学会議土木工学・建築学委員会知的創造と活動を喚起する環境としての大学等キャンパスに関する検討分科会提言)

日本の産業界から見た産学連携における諸外国との比較

○ 産学連携における海外大学との競争性は、シーズ次第であり、大きな差はないとの声も多数。

<海外大学の方が日本の大学と比べて産学連携に取り組みやすい点>

(複数回答可)



(n=107)

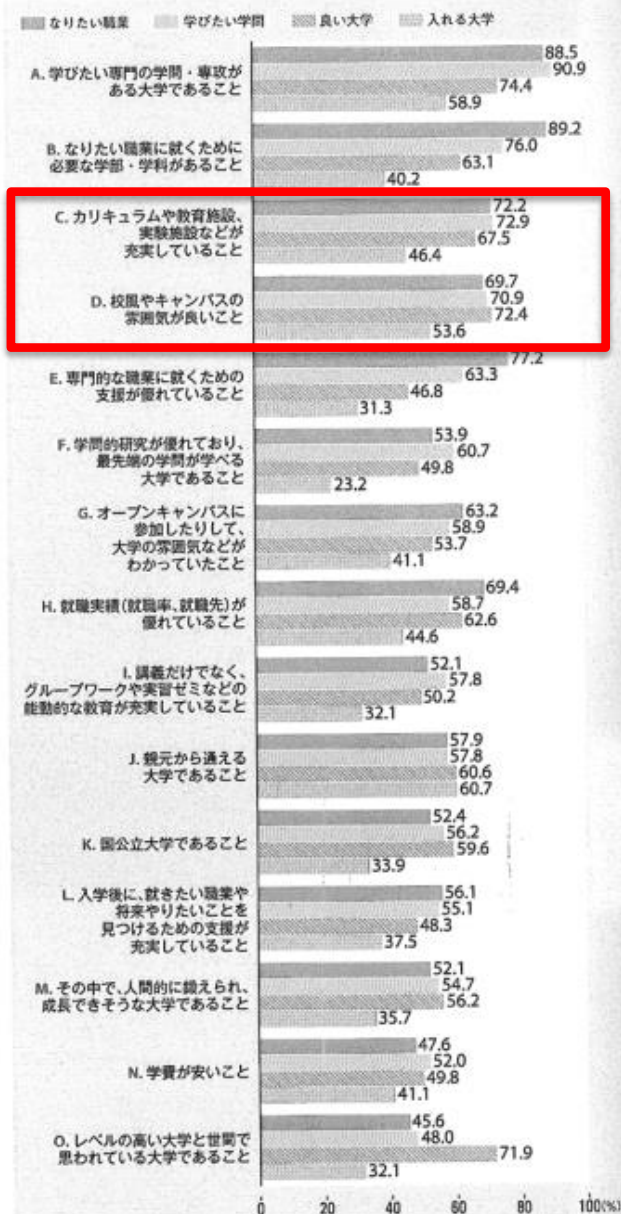
注:「海外大学との間で産学連携の取組みを行っている」企業数に占める各選択肢の回答数の割合を算出

大学のキャンパス・施設環境の重要性

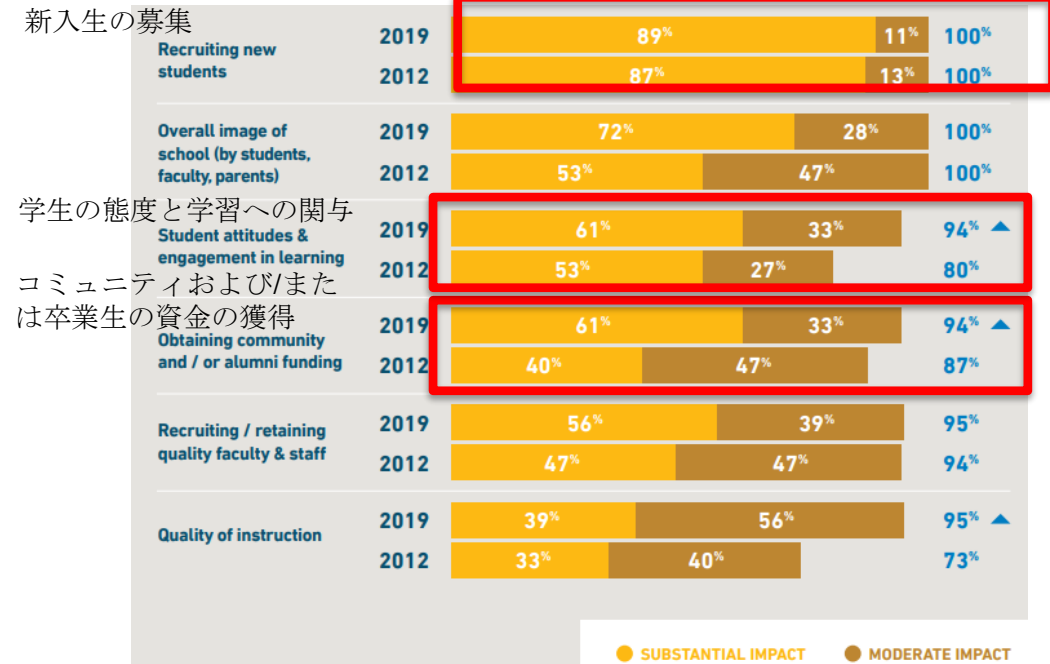
○ 大学における学生獲得において施設環境が大きな影響を与える

● 日本学生への調査結果（大学選択時の重視事項）

図2 進学目的別 大学選択の際に重視する大学の特徴



● アメリカの高等教育専門家への調査結果（施設環境の影響度）



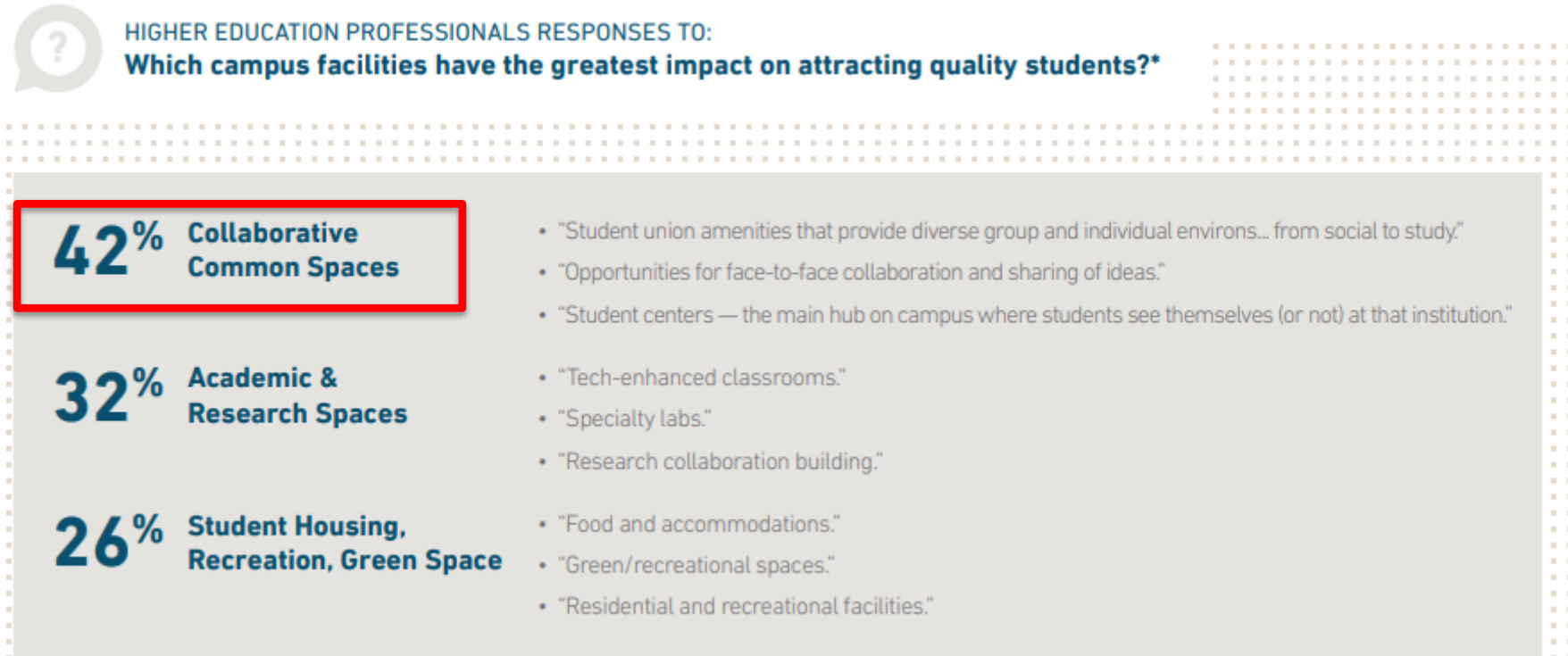
- 米国の高等教育の専門家はみな**キャンパス施設が新入生の獲得に大きな影響を与える**と考えている。
- **学生の教育効果の向上や外部資金や寄付の獲得に対して、近年施設環境の重要性が増している**と考えている。（アメリカの大学計画部会（SCUP）の高等教育専門家調査より）

（出典：mortenson_higher_education_study_2019.pdf）

（左図）VIEW21 大学版 2013 Vol.2 冬号（ベネッセ教育総合研究所）特集 教学改革を「選ばれる大学」の要因とするために p.5 図2 大学選択の際に重視する大学の特徴を4件法でたずねた結果、「学びたい学問」を目的とした選択者が回答した「とても+まあまあ+そう思う」の上位15項目を高い順に示しているが、上位4番目に「校風やキャンパスの雰囲気が良いこと」が位置づけられている。（日本学術会議報告書より）

優秀な学生を惹きつけるための重要な施設（共創空間の必要性）

- 優秀な学生を惹きつけるのに最も重要な大学施設は「**共創空間**」（米国における有識者調査）
- **教育研究施設**や**学生宿舎**等も重要な要素と指摘



(出典 : mortenson_higher_education_study_2019.pdf)

○さらに、美しい環境形成がなされると経済状況など他の条件が変わらなくとも学生の成績が11%上がるとの研究成果（米国ジョージタウン大学報告）もあり、**機能的で魅力ある環境整備は教育研究の推進のために必要不可欠**。

○日本への留学目的として、半数以上の外国人留学生は日本文化への興味を挙げる、理系学生は日本の大学等の教育・研究に魅力を感じて留学する者も多い。留学生生活を通じた**日本人学生との交流や日本文化への接触機会の創出、高度な教育研究活動を実現するための環境整備は留学生を一層呼び込むための重要なポイント**。

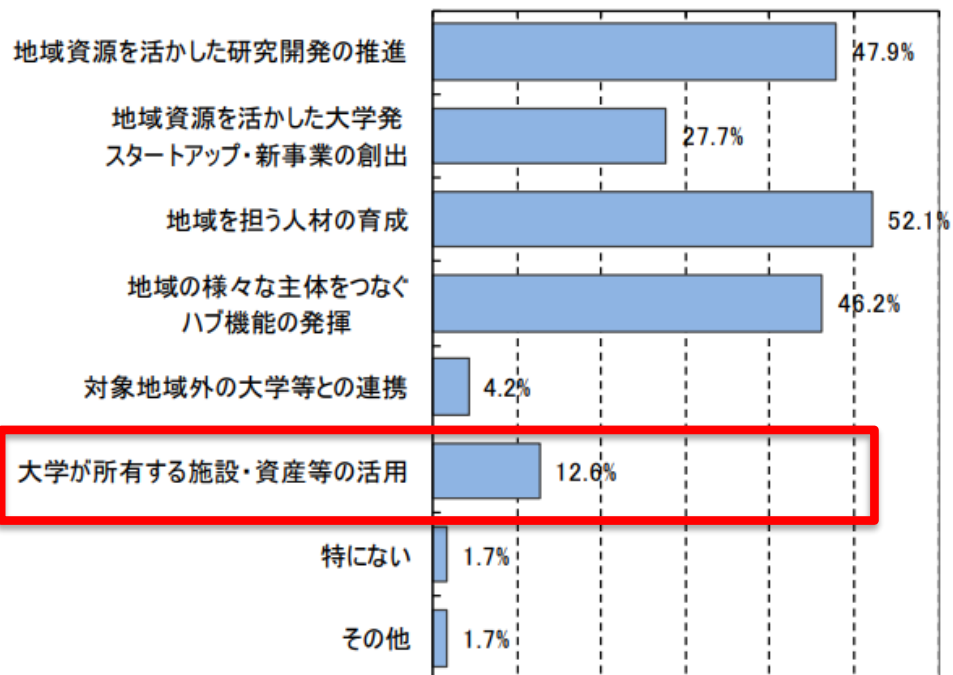
産業界からの期待（大学施設の観点から）

- 産業界では大学が所有する施設・資産等の活用についても一定の期待。
- 大学で推進すべき取組として、「ハイブリッド型教育に適した学内設備・施設の充実」を重視。

<大学に期待する役割>

(2つまで回答可)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

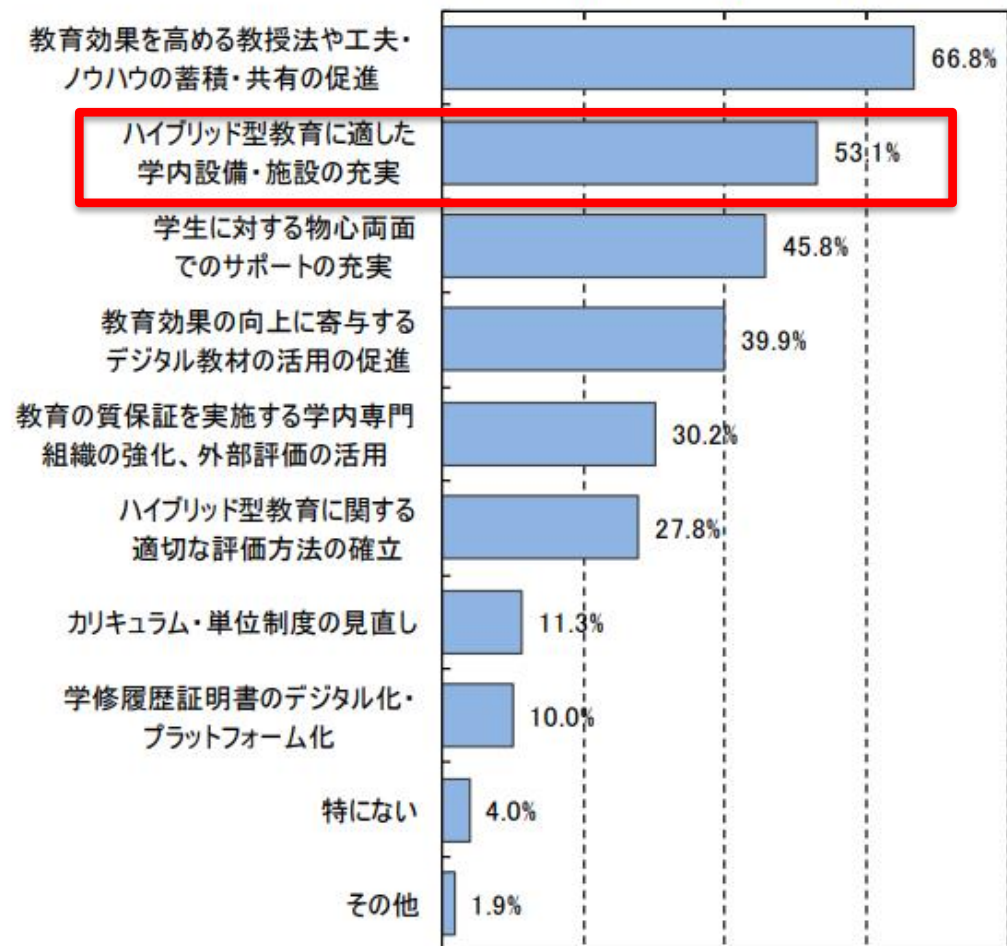


(n=119)

<教育の実施体制・環境の整備に関して推進すべき取組み>

(3つまで回答可)

0% 20% 40% 60% 80%



(n=371)